

あいち農産物生産流通レポート

平成26年8月号

情報サロン		
・平成26年度愛知ふるさと食品コンテストを開催しました (食育推進課)		1
地域トピックス		
・売れる商品づくりを学ぶ!ぶどう現地研究会開催 (尾張農林水産事務所)		2
東日本情報		
・「ビジネスとしての農業」の成功条件について (東京事務所)		4
西日本情報		
・養液栽培における高温性ピシウム病害の安全性診断マニュアルを 作成 (農業総合試験場)		6
フラワーページ		
・産地と買い手の対話が魅力的なフラワーマルシェ (東京事務所)		7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の8月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年5月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

平成26年度愛知ふるさと食品コンテストを開催しました

～ 『うずらたま5くん!! みそ味』を最優秀食品に選定～

「愛知のふるさと食品コンテスト（以下、「コンテスト」という）は、県産農林水産物を活用した加工食品（＝ふるさと食品）の新たな需要を掘り起こし、農林水産物の生産振興に資することを目的として毎年度開催しています。



審査会の様子

本年度は、平成26年8月7日（木）に名古屋市西区のあいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターで開催し、有識者、食品製造関係者、食品流通業者及び県職員10名の審査員により、48社から出品された65商品の中から、合資会社野田味噌商店の『うずらたま5くん!! みそ味』が最優秀賞に選定されました。

【最優秀賞の概要】

名 称	うずらたま5くん!! みそ味
製 造 者	合資会社 野田味噌商店
発売開始日	平成26年4月1日
価 格	200円/袋（5個）（税抜）
原 材 料	うずら玉子水煮、豆みそ
特 徴	愛知県産うずらゆで玉子を使用し、愛知県産大豆を使用した味噌だれで味付け。丹念に仕上げた逸品。
審査講評	「豆みそ独特の風味がまろやかになり、食べやすい味付けである」 「うずらの美味しさが引き出されている」 「パッケージデザインがよい」 「大人にも子どもにもあう味」等



コンテストで最優秀に選定された『うずらたま5くん!! みそ味』を一般財団法人食品産業センターが主催する全国規模のコンクールに愛知県代表として推薦します。愛知県代表として推薦した食品は、これまでも多くが全国で高い評価を得ています。

地域トピックス

売れる商品づくりを学ぶ！ぶどう現地研究会開催！

尾張農林水産事務所

尾張果樹振興会（事務局：尾張農林農政課内）は、平成26年7月15日（火）、豊明市のJAあいち尾東南部営農センターにおいて、「尾張果樹振興会ぶどう現地研究会（以下「研究会」という。）」を開催しました。

研究会には、管内の生産者とJA緑信用、JA尾張中央、JAあいち尾東、JAあいち経済連、県農業改良普及課職員計32名が出席し、園地視察及び講演を実施しました。

生産者同士で活発な情報交換

JAあいち尾東に所属する2名の生産者のぶどう園を視察し、普及指導員から経営や栽培管理の説明を受けました。その後は園主が参加者からの質問に答えたり、各自が工夫している栽培技術について生産者同士で活発な情報交換が行われていました。



園地視察での活発な意見交換



「より良いものをつくる努力を」

（株）げんきの郷フードコーディネーター高木幹夫氏を講師に招き、「～地域を守る農業を考える～アグリビジネス成功のポイント」のタイトルで講演を実施しました。（株）げんきの郷の発足当時の話から、消費者へ情報発信すること、高い値段に見合う品質の農産物を作ることの重要性が熱く語られました。

（株）げんきの郷 フードコーディネーター

高木幹夫氏による講演

参加者の感想は

参加者のアンケートによると、園地視察及び講演は大半が「参考になった。」「良かった。」との回答でした。中でも、講演会は、「単に農産物の売り方だけでなく、売る相手を見極めるマーケティングや品質管理の重要性がわかった。」「自分の農業の在り方そのものを考える機会になった。」との意見が見受けられました。

また部会活動に関して、「品種検討会を行い、レベルを上げることが必要。」、「今後も現地研究会を続けてほしい。」など、意欲的な意見が挙がりました。

今回の結果を踏まえて、今後の尾張果樹振興ぶどう部会の活動が一層充実するよう生産者共々力を合わせていきます。

「ビジネスとしての農業」の成功条件について

経済成長フォーラムは、日本が新たな成長分野を創り出すことを目的として2012年5月25日に発足し、グローバル化と高齢化の中で経済成長を実現するための環境整備を、社会モデルとビジネスモデルの双方から探っています。農業分野において「企業の農業参入拡大のための改革」がまとまってきたということで6月27日（金）にJPTワーホール&カンファレンス（東京都千代田区丸の内）でシンポジウムが開催されましたのでその結果を報告します。

1 企業の農業参入促進のための提言

経済成長フォーラム座長の大田弘子氏から報告がありました。

経済成長フォーラムでは、農業は成長分野の一つであると捉え、この分野を確実に成長させるために先駆的な事例を集めて、どういう制度改革が行われれば企業のイノベーションが起こるのかを提言していました。

先駆的な事例として、

- ・ものづくりの生産工程管理、品質管理を取り入れて生産性向上した【サラダボウル】
- ・川上から川下までのバリューチェーンをつないだ【らでいっしゅぼーや】
- ・標高差を利用して通年栽培で生産を平準化した【岡野農場】
- ・クラウド営農支援システムで生産から販売まで本社で一元管理した【ローソン】
- ・ブランド戦略で有名な佐賀牛の【JA佐賀】など、が挙げられました。

こうした事例をもっと広げるために制度的にどこを改革すればよいかを6月13日の規制改革会議の答申では、農業委員会、農業生産法人、農業協同組合、を三位一体の改革としていました。そのなかで企業の農業参入と関係が深いのは農業生産法人で、その役員要件は現在過半数が農作業に従事することになっていますが、これを1人以上が農作業に従事する等の要件緩和が示されました。

2 パネル討論 「先進事例にみるビジネスとしての農業の成功条件」

富士通では、2008年に牛歩システムサービスを開始、現在は元半導体工場（無菌）で低カリウムのレタスを生産している。前者はクラウド化することで韓国やポーランド等海外

プログラム

- 1 挨拶 公益財団法人日本生産性本部
名誉会長 牛尾治朗
- 2 基調講演・提言報告
経済成長フォーラム・座長 大田弘子
【政策研究大学院大学・教授】
- 3 パネル討論
<コーディネーター>
経済成長フォーラム・コアメンバー 富山和彦
【(株)経営共創基盤・代表取締役CEO】
<パネリスト>
(株)富士通九州システムズ・取締役執行役員常務 愛川義政
(株)庄内こめ工房・代表取締役 齋藤一志
(株)ファーム・アライアンス・マネジメント・代表取締役 松本武
- 4 パネル討論
<コーディネーター>
経済成長フォーラム・座長 大田弘子
<パネリスト>
フューチャー・キタ(株)・代表取締役会長兼社長、
規制改革会議農業ワーキング・グループ 座長 金丸恭文
(株)ローソン・取締役会長、
産業競争力会議・農業分科会主査 新浪剛史
大阪大学社会経済研究所・招聘教授、国家戦略特別
区域諮問会議・有識者議員 八田達夫
カンパニーグローバル戦略研究所・研究主幹 山下一仁

で実施可能になり、後者は農業の工業化を実践している。クラウドとICT(Information and Communication Technology)化でグローバル事業を展開することでコスト削減が可能で



左から、富山和彦氏、愛川義政氏、斎藤一志氏、松本武氏

あることが示唆されました。

お米に関しては、企業が参入して利益を上げるのは難しく、生産技術や情報、天候リスクの十分な分析が必須で、輸出を考えると米の育種は、美味しさよりも収量性に方向転換したほうがビジネスになると説かれました。炊飯器の高機能化も影響しているようでした。

農産物の安全性は、客観的担保を持った認証規格で生産者から消費者までつないでいくことが必要で、海外で通用するためにはGFSI(Globa

l Food Safety Initiative)という組織が承認した規格(例:グローバルG.A.P、FSSC2200)を取得する必要があると指摘されました。こだわりや思い込みでは安全性は確保されないことを明言していました。また海外の小売や加工業者は、生産者を自分たちのパートナーとして育成、規模拡大を促すように活動しており、日本はその日暮らし的な仕入れ体制になっているところがあるとも指摘されました。

3 パネル討論 「企業の農業参入促進のための制度的条件」



左から大田弘子氏、金丸恭文氏、新浪剛史氏、

八田達夫氏、山下一仁氏

規制改革会議のとりまとめにあたって最も危機感があったのは、農業における39歳以下の若者率が4%しかないということでした。若者が農業参入するためには「農業が普通の就職先」になることが重要でした。

産業競争力会議では、農業を産業化し、農地の貸付(リース)を促進して「経営規模の拡大」と「企業の参画促進」を図ること、企業の知見や経験を活用して1次・2次・3次産業が連携した加工食品の差別化・高付加価値を進めること、

を輸出マーケットの拡大を視野に入れて考えていました。またIターンやUターンで地方に戻って来た人が企業とのコミュニケーションをする役割を担って、企業のノウハウを農業に活用すべきと提案していました。

特区は、農業に関しては、兵庫県養父市と新潟県新潟市が選ばれ、養父市では農業委員会の会議で農地権利委譲に関する権限を市に委譲することに決まったようです。これにより、従来よりも客観的な立場で農地リースが判断されることが期待されていました。

企業が農業に参入しやすくなる準備は整ってきたように思いました。農業で長期間ビジネスとして成功するには、地域とそこに住む人たちとの共存共栄が必要であると思いますので、企業と住民のパイプ役を果たす人材がこれから求められてくると思いました。また企業ノウハウを活用することで農産物の流通にも変化がみられることが予期されました。

養液栽培における高温性ピシウム病害の安全性診断マニュアルを作成

農業総合試験場

近年、野菜・花き類の養液栽培では、夏期高温時に高温性ピシウム病害が発生しています。これらの病原菌は養液の循環によって瞬く間に施設全体に広がり、発見が遅れると被害が大きくなります。そのため、これらの病原菌に対する簡易検出法を開発すると同時に、簡易検出法を利用して病原菌を検出し、その診断結果に基づいて防除対策を行うための安全性診断マニュアル（以下、「マニュアル」）を作成しました。

1 高温性ピシウム病害の簡易検出法を利用した安全性診断

LAMP 法を使った簡易検出法は、野菜・花き類の養液栽培に被害を与える高温性ピシウム菌を、植物体、水（原水や培養液）、土壌（培土、鉢土）からピペットや保温容器などの簡易な機器を使って、簡単に短時間で検出することができます。LAMP 法とは新しい遺伝子診断法で、反応液を 60～68 の一定温度で 1 時間保温することで、目的とする病害の DNA の有無を調べることができます。

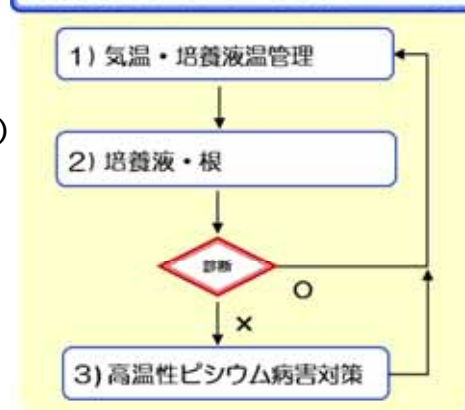
簡易検出法により、病原菌が栽培施設内外のどこに潜んでいるかを調べ、培養液中に病原菌が侵入しているか否かをモニタリングして、安全性評価票による安全性診断を行います。もし、対策が必要であると判断されれば、マニュアルに基づいて対策を講ずることができます。

2 病害管理ポイントと診断フロー

安全性診断を行うことで適確な病害対策を行うことができます。マニュアルの各作物編には、トマト、ミツバ、ネギ、ホウレンソウ、切りバラ、ポインセチア編があります。それぞれの作物編には、簡易検出法を利用して「いつ」「どこで」「どのように」安全性診断を行うかが記載されています。

例えば、右図の病害管理ポイントと診断フローの例では、1) 気温・培養液温管理を実施します。2) 培養液・根などを診断対象として、簡易検出法を用いた定期的な培養液の診断（各作物編に具体的な時期が示されています）や植物の生育不良時の根の診断を行います。病原菌が検出されなければ各作物編に基づき 1) 気温・培養液温管理と定期的な培養液の診断を継続します。もし病原菌が検出されれば各作物編の安全性診断票に基づき 3) 高温性ピシウム病害対策を実施することになります。

病害管理ポイントと診断フローの例



3 マニュアル本編

マニュアル本編（全 162 頁）は、共同研究を行った国立大学法人岐阜大学流域圏科学研究センター景山研究室の Web ページからダウンロードすることができます（<http://www.green.gifu-u.ac.jp/~kageyamalab/index.html>）。

本研究は、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」により実施しました。

産地と買い手の対話が魅力なフラワーマルシェ

フラワーマルシェという言葉もすっかり定着している今日ですが、全国一の花き市場である大田市場でもフラワー・オークション・ジャパン（FAJ）がフラワーマルシェ「FAJマルシェ in 大田仲卸通り 2014 サマー」を開催しました。

FAJマルシェは、生産者が各仲卸店の前に小ブースを設置し、直接、買い出しに来た方々と話をしながら商品のPRをして販売する試みで、今回が3回目となります。この日は夏商品を出荷する産地を中心に29生産者（団体含む）が参加しました。

愛知県内からは、JAあいち海部早尾花き組合、アイチローズファクトリー（ARF）、アバンテローズ、芭里亜乃菊、(有)お花屋さんの5生産者が参加しており、買い出しにきた方々に自らの商品をPRしていました。

ARFの友松さんは第1回目の開催から毎回参加し、珍しいイングリッシュローズなどを販売しており、「レアな商品で毎回完売となっている。こうした場所がある限り参加したい。」と話していました。また、JAあいち海部早尾花き組合の渡辺さんは今回が初めての参加でクルクマと花バスを販売し、積極的にPRを行っていました。

生産者は自らこうした場に立つことによって買い出し人の生の声を聞くことができ、売れる品目と売れない品目の差を身をもって知ることができ貴重な場だと感じていました。今回は夏物商品中心の販売イベントでしたが、次回は2月に冬物商品を中心に行われます。



仲卸通りの様子



ARFの友松氏



西尾市のアバンテローズ

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	1,422	226 (16%)	790	855	長野 (64%) 山梨 (19%) 愛知 (16%)
26年見通し	1,500	-	800	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野を中心に山梨、愛知などから入荷する。生育状況は、暖かい日が続いたこともあり、順調に生育している。粒も揃っている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る予定。</p>			<p>巨峰からシャインマスカットに生産を切り替える生産者が増えている。 消費者は種なしで皮ごと食べられるものを好む傾向が続いているため、そういったものを、試食販売を通じて消費者の方々に実際に食べてもらうことによって、一層の消費拡大を期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	411	186 (45%)	560	625	和歌山 (27%) 静岡 (10%) 福岡 (7%)
26年見通し	390	-	630	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウスものから露地ものへ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、福岡、静岡などから入荷する。平年よりも1~3日ぐらい生育が進んでいる。愛知、和歌山ともに面積減の中、福岡は増加している。愛知の露地ものは上旬からはじまり20日過ぎからピークをむかえる。和歌山も盆過ぎにピークとなる。福岡は今年も入荷量が増える見込みで下旬から9月上旬がピークとなる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産は、数量・品質ともに高く、量販店からも支持されている。他産地も量・品質ともに上がってきている中でトップブランドとして、品質管理や等階級別の選果に努めてほしい。商品の特性として傷みがやすいので検品をしっかりとってほしい。 生産者の高齢化等により生産規模が縮小しているが、産地の維持・拡大をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	21年	32,613	237	228	254	231	北海道 31%
	22年	32,432	228	225	231	228	長野 22%
	23年	33,421	202	209	203	200	群馬 11%
	24年	32,547	185	178	189	192	青森 5%
	25年	31,543	215	205	221	219	
	5ヵ年平均	32,511	213	-	-	-	
	26年見通し	32,000	197	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 単価 円/kg</p>				
<p>主な産地は北海道、長野。昨年ほどではないものの、天候が不安定で生育にも影響を及ぼし、入荷量にも影響が出てくるおそれがある。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	21年	2,008	120	116	139	111	北海道 65%
	22年	1,634	105	84	108	122	青森 23%
	23年	2,112	69	76	59	78	岐阜 11%
	24年	1,891	73	69	72	84	長野 1%
	25年	1,762	95	82	110	103	
	5ヵ年平均	1,882	92	86	97	99	
	26年見通し	1,700	100	100	100	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 単価 円/kg</p>				
<p>産地は北海道が中心。地域により、干ばつ、大雨の地域があるが、だいこんの産地は大雨地域にあたり、入荷減のおこれがある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	21年	2,533	156	152	165	152	北海道 88%
	22年	1,740	216	218	207	220	青森 10%
	23年	2,006	130	131	129	133	中国 2%
	24年	2,119	92	95	90	95	千葉 0%
	25年	1,802	151	149	161	147	
	5ヵ年平均	2,040	147	147	149	147	
	26年見通し	2,000	130	130	130	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 単価 円/kg</p>				
<p>主な産地は北海道、青森。北海道からの出荷が本格的に始まり、8月中下旬がピークとなる見通し。干ばつ地域の影響で細物が多くなる可能性もある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

7月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	21年	122,784	254	246	269	248	北海道 23% 群馬 15% 長野 14% 青森 7% (愛知産比率 0%)
	22年	122,709	245	234	250	249	
	23年	126,666	219	218	211	226	
	24年	130,732	191	192	197	186	
	25年	126,860	228	223	223	236	
計	5カ年平均	125,950	227	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	130,000	228	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東高冷産地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。6月の降雨で生育が回復する品目が多くあり、作況は7月の台風8号の影響はほとんどなく順調に推移。 総体では、入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みを見込む。</p>							
だいこん	21年	9,667	112	112	124	104	北海道 73% 青森 21% 岩手 4% 群馬 1% (愛知産比率 -%)
	22年	9,162	100	79	106	114	
	23年	10,196	70	69	65	74	
	24年	9,800	68	57	70	75	
	25年	9,335	92	74	102	101	
計	5カ年平均	9,632	88	78	93	94	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	9,550	85	80	90	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、東北産地中心の入荷となる。北海道は6月中旬の降雨で播種が計画的に行われなかったが、生育は概ね順調。青森、岩手も生育は順調で今後の天候次第だが、前年以上の入荷が予想される。全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	21年	6,452	159	158	168	152	北海道 81% 青森 16% 中国 3% (愛知産比率 -%)
	22年	5,488	206	203	200	213	
	23年	6,614	121	116	121	126	
	24年	7,098	96	98	96	94	
	25年	6,269	147	145	160	140	
計	5カ年平均	6,384	143	144	149	145	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	6,800	120	125	115	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は6月中旬の降雨で播種が計画的に行われなかった地域があり、生育はまちまちだが、干ばつで入荷量の少なかった前年より生育は順調に推移している。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

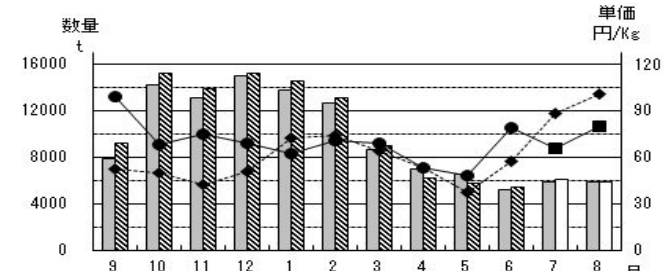
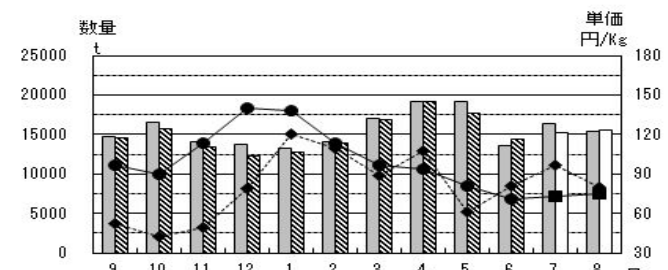
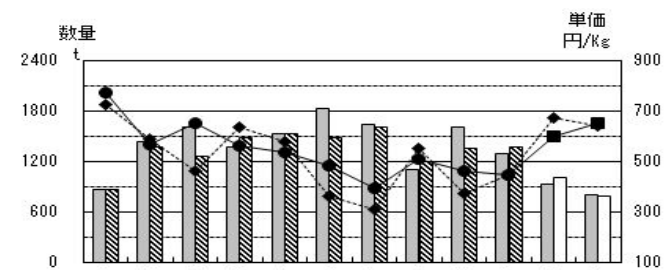
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	21年	1,704	101	79	102	120	長野 92% 群馬 7% 北海道 2%
	22年	2,062	55	55	60	64	
	23年	1,659	58	60	73	53	
	24年	1,659	58	60	73	53	
	25年	1,335	100	96	113	108	
	5ヵ年平均	1,684	73	68	82	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,400	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主要産地は長野。数量は少なめ。 産地では、生産調整の話も聞く。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
キャベツ	21年	3,887	93	73	96	110	群馬 68% 長野 19% 北海道 11%
	22年	3,903	89	94	88	86	
	23年	4,333	62	59	53	78	
	24年	4,638	60	57	72	58	
	25年	4,252	83	76	84	94	
	5ヵ年平均	4,202	77	71	78	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,300	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は群馬が主力で、長野が続く。群馬は雨が多く、芽が弱い。これからの晴天で芽腐れが懸念される。生育も不安定で、小玉傾向の可能性もある。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ほうれんそう	21年	239	724	662	811	714	岐阜 90% 長野 4% 茨城 2% 静岡 2%
	22年	184	783	815	765	775	
	23年	217	633	640	545	723	
	24年	206	687	645	716	695	
	25年	184	658	546	656	797	
	5ヵ年平均	206	696	660	700	738	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	200	650	600	650	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
岐阜からの入荷が中心となる。天候の影響を受けやすく、入荷量にバラつきがある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。							

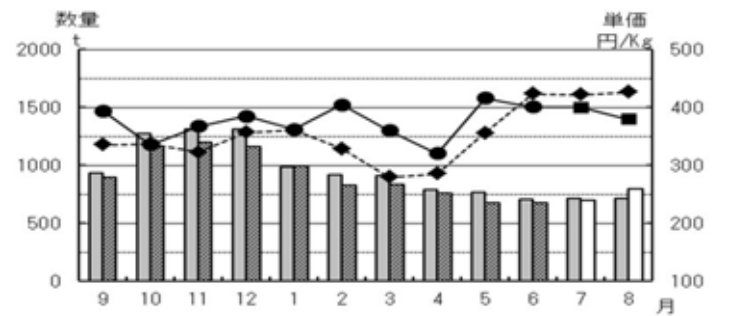
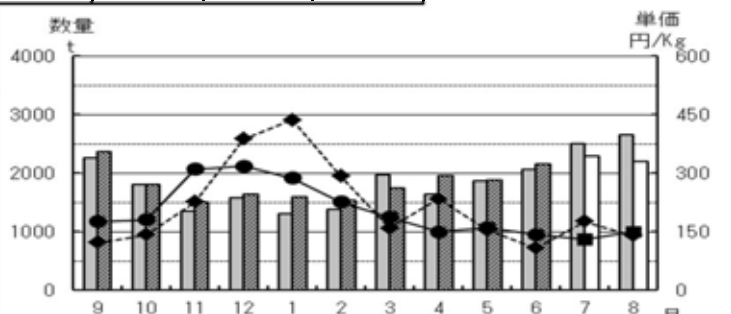
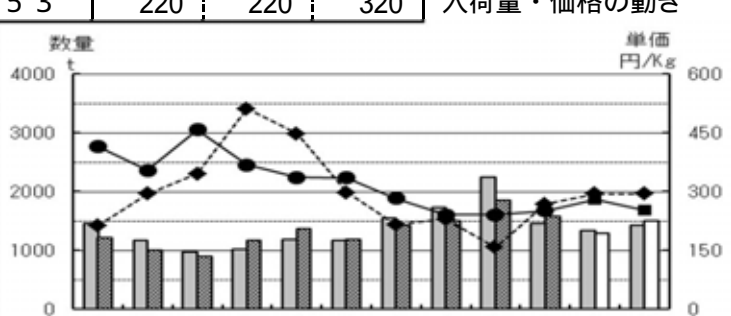
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうい	21年	5,250	91	68	83	117	長野 95% 群馬 3% 北海道 1% (愛知産比率 -%)
	22年	5,891	94	70	96	113	
	23年	6,482	56	52	55	61	
	24年	5,682	59	57	76	50	
	25年	5,816	101	93	107	103	
	5カ年平均	5,824	80	68	83	89	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,800	80	70	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野からの入荷が中心となる。長野は6月の降雨で一部生育不良がみられるが、全体的には生育良好で、病害の発生もなく玉伸び良好に推移している。入荷量は前年並みで、価格は加工業務需要が前年並みだが品薄感が弱いため、高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
キャベツ	21年	15,689	90	67	94	107	群馬 78% 岩手 14% 北海道 3% 長野 3% (愛知産比率 0%)
	22年	15,243	88	91	88	84	
	23年	16,619	60	56	50	74	
	24年	15,491	54	48	67	51	
	25年	15,333	80	71	81	89	
	5カ年平均	15,675	74	67	76	81	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	15,500	75	71	74	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬中心に岩手、北海道からの入荷が主力となる。群馬は6月の降雨で一部作付けできない時期があったが、生育は概ね順調。岩手は現状小玉傾向だが、玉伸びは今後の天候次第。入荷量は前年並みで、価格は5か年平均並みだが前年をかなり下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	21年	966	632	594	666	639	群馬 29% 栃木 27% 茨城 17% 岩手 11% (愛知産比率 -%)
	22年	674	840	779	899	839	
	23年	827	617	568	562	723	
	24年	800	613	561	668	619	
	25年	796	638	522	660	749	
	5カ年平均	813	661	605	691	714	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	780	650	640	640	670	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬、岩手の一部地域では雪害によるハウス倒壊の影響で入荷量減の見通し。その他の産地は平年並の出荷となる見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	947	426	402	476	413	北海道 26%
	22年	863	422	439	443	390	愛知 18%
	23年	791	353	320	358	404	長野 10%
	24年	835	347	342	378	346	鳥取 8%
	25年	718	427	431	459	415	
	5ヵ年平均	831	396	387	424	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	800	380	380	380	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道中心。長ねぎは愛知、白ねぎは茨城主力。雨が多く、生育に影響がでるおそれがある。入荷量も安定せず、相場は小刻みに動く。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
レタ	21年	2,000	233	182	279	243	長野 99%
	22年	2,045	221	211	224	226	愛知 0%
	23年	2,072	176	131	186	236	兵庫 0%
	24年	2,429	126	135	135	131	茨城 0%
	25年	2,663	140	145	138	155	
	5ヵ年平均	2,242	175	159	187	193	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,200	150	140	150	160	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主要産地は長野。生育は順調も入荷量は不安定。これからの天候によりさらに不安定になるおそれもある。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
きゅうり	21年	1,443	310	284	322	323	長野 53%
	22年	1,520	272	200	267	343	北海道 19%
	23年	1,545	275	166	233	276	山形 6%
	24年	1,570	227	216	218	252	岩手 6%
	25年	1,423	295	241	229	421	
	5ヵ年平均	1,500	275	220	253	321	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,500	253	220	220	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野、北海道が中心。作付面積減少も、生育は順調。8月は、給食の需要なく単価安。福島県産は買い手付かず、相場に影響が出る可能性もある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	21年	4,401	308	310	393	247	茨城 38% 青森 22% 北海道 9% 秋田 6% (愛知産比率 0%)
	22年	4,172	285	281	333	252	
	23年	4,032	296	227	318	341	
	24年	4,312	207	190	259	186	
	25年	4,187	322	397	279		
	5カ年平均	4,221	283	266	340	261	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,300	310	300	320	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城、青森からの入荷が中心となる。茨城は降雨により肥大が順調で太物比率が高くなる見通し。青森、北海道は干ばつが影響し生育は遅れ気味だが、入荷量は前年並み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
レ	21年	7,802	229	183	274	240	長野 86% 群馬 11% 岩手 1% 北海道 1% (愛知産比率 0%)
	22年	8,442	221	210	220	231	
	23年	8,802	183	119	188	251	
	24年	9,774	120	123	123	115	
	25年	10,171	140	139	134	148	
	5カ年平均	8,998	175	155	188	197	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	9,800	150	130	170	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野からの入荷が中心となる。長野は梅雨と台風後の高温で生育不良や傷みが発生しており、入荷量は今後の天候にもよるが入荷量減の見通し。群馬は降雨が多く、一部で軟腐病が発生している。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
き	21年	7,847	289	266	298	301	福島 42% 岩手 21% 秋田 13% 青森 5% (愛知産比率 0%)
	22年	8,052	252	186	253	308	
	23年	8,254	231	202	157	353	
	24年	9,301	178	165	163	201	
	25年	8,008	264	217	184	396	
	5カ年平均	8,292	241	207	211	312	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,500	230				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
福島、岩手、秋田、青森からの入荷が中心となる。各産地とも生育初期から概ね順調な生育をしており、今後の天候次第だが、入荷のピークは8月中旬ころまで続く模様。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	1,092	269	266	270	268	愛知 34%
	22年	1,210	235	257	253	211	徳島 19%
	23年	1,226	258	334	238	212	山梨 18%
	24年	1,151	182	201	178	175	岐阜 8%
	25年	997	202	230	165	221	
	5ヵ年平均	1,135	230	259	222	217	
26年見通し	1,040	210	220	175	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、山梨、徳島、群馬中心。天候に恵まれ、生育は順調。中下旬にピークを向かえ、その後単価は落ちるであろう。入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回る見込み。							
ト マ ト	21年	1,647	342	193	312	419	岐阜 56%
	22年	1,585	344	290	322	466	北海道 23%
	23年	1,677	364	384	336	388	愛知 7%
	24年	1,773	287	291	250	320	長野 5%
	25年	1,881	313	326	281	334	
	5ヵ年平均	1,713	329	298	299	382	
26年見通し	1,750	300	300	280	330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜から北海道に移る。夏秋型トマトは、生育順調で大玉傾向。入荷は、盆付近がピークであろう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	21年	337	570	546	528	626	北海道 82%
	22年	353	613	559	535	719	長野 9%
	23年	370	705	719	699	709	愛知 3%
	24年	451	428	493	348	453	山形 2%
	25年	450	562	523	517	628	
	5ヵ年平均	392	569	563	518	619	
26年見通し	450	500	500	400	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道中心。生育は順調で入荷量は増加すると思われるが、大雨等今後の天候により左右されることが懸念される。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	5,025	271	277	282	257	栃木 30% 群馬 27% 茨城 25% 埼玉 7% (愛知産比率 0%)
	22年	5,451	219	245	219	181	
	23年	4,970	265	357	202	249	
	24年	5,522	173	185	180	157	
	25年	5,302	203	223	141	246	
	5カ年平均	5,254	225	257	205	218	
26年見通し	5,300	220	220	200	240	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木、群馬、茨城、埼玉からの入荷が中心となる。各産地とも7月上中旬の曇雨天で生育は遅れ気味だが、梅雨明け後の気温上昇とともに生育は回復する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	21年	9,003	317	296	294	363	青森 23% 北海道 19% 福島 17% 群馬 11% (愛知産比率 0%)
	22年	8,832	336	287	306	410	
	23年	9,145	356	402	293	390	
	24年	11,413	245	232	222	274	
	25年	10,266	289	300	253	308	
	5カ年平均	9,732	305	303	274	349	
26年見通し	11,000	270	270	240	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森、北海道、福島、群馬からの入荷が中心となる。青森、北海道は好天に恵まれ生育順調。福島、群馬は梅雨明けまでは曇雨天や低温で生育が遅れたが梅雨明け後は天候回復で順調入荷の見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	21年	1,064	580	556	587	597	北海道 33% 茨城 19% 福島 13% 岩手 12% (愛知産比率 0%)
	22年	1,038	623	551	607	702	
	23年	1,074	707	718	729	677	
	24年	1,512	425	441	351	465	
	25年	1,643	561	544	540	590	
	5カ年平均	1,266	567	562	563	606	
26年見通し	1,700	540	540	500	580	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城、福島に加え北海道、岩手からの入荷が増えてくる。北海道、茨城、岩手は好天に恵まれ生育順調。福島はトマトと同様に梅雨明け後の天候回復で順調入荷の見込み。 入荷量は多かった前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	477	349	358	373	327	岩手 45% 北海道 39% 青森 6% 長野 4%
	22年	496	334	346	315	339	
	23年	525	291	442	291	255	
	24年	470	245	304	266	219	
	25年	442	323	441	292	319	
マン	5カ年平均	482	308	379	307	291	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	460	325	400	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		主な産地は岩手、北海道。中旬までは入荷量が少なく単価高になり、その後は入荷量が一気に増加し、単価も下がりそう。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。					
ばれいしょ	21年	2,295	178	238	194	129	北海道 64% 青森 30% 静岡 2% 茨城 2%
	22年	2,431	136	120	134	149	
	23年	1,814	107	103	105	110	
	24年	2,019	89	85	90	94	
	25年	1,974	177	215	193	149	
いしょ	5カ年平均	2,107	139	154	145	127	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,100	125	130	125	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		主な産地は北海道、青森。干ばつの影響で生育は良くなく、小玉傾向である。また、入荷量にも影響が懸念される。 入荷量はかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	21年	4,127	130	133	149	118	兵庫 50% 北海道 33% 佐賀 7% 愛知 6%
	22年	4,638	95	102	95	90	
	23年	4,515	74	79	73	73	
	24年	3,430	122	134	132	112	
	25年	4,178	102	103	107	100	
ねぎ	5カ年平均	4,177	103	109	109	97	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,500	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		主な産地は兵庫(淡路島)、北海道。淡路島は順調も、北海道は遅れがちであり、入荷量に影響が出る恐れがある。今後も天候に左右される。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピ	21年	2,027	320	330	359	284	岩手 43%	
	22年	2,009	310	319	311	301	茨城 22%	
	23年	2,090	245	354	218	176	福島 17%	
	24年	2,167	187	275	172	144	青森 13%	
	25年	2,052	265	377	213	231	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	2,069	265	331	255	227	前年及び本年の	
26年見通し	2,100	260	250	240	270	入荷量・価格の動き		
マ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
	岩手を中心に茨城、福島などから入荷する。各産地とも生育順調で安定した出荷が見込まれる。岩手は、中旬にピークを迎える。茨城は6月蒔きの秋作の出荷となる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。							月
ば れ	21年	5,619	179	226	200	136	北海道 71%	
	22年	5,694	149	137	148	158	茨城 11%	
	23年	5,566	107	93	105	119	青森 9%	
	24年	5,589	93	82	95	98	千葉 5%	
	25年	5,507	171	195	181	154	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	5,595	140	147	146	133	前年及び本年の	
26年見通し	5,700	130	130	130	130	入荷量・価格の動き		
い し よ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
	北海道が中心。他に茨城、青森などから入荷する。北海道は干ばつのため小ぶりの玉が中心となる。上旬と下旬に出荷の山となる。茨城、青森は順調な生育となっている。入荷量は前年をやや上回り、価格も高かった前年を大幅に下回る見込み。							月
た ま	21年	9,205	141	140	151	136	北海道 35%	
	22年	9,923	110	114	113	105	兵庫 30%	
	23年	9,792	82	84	84	79	佐賀 20%	
	24年	8,450	130	141	130	123	中国 9%	
	25年	9,797	112	115	115	109	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	9,433	115	119	119	110	前年及び本年の	
26年見通し	10,000	100	100	100	100	入荷量・価格の動き		
ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
	北海道、兵庫、佐賀中心の出荷となる。北海道は干ばつであり、生育と玉伸びは今後の降雨に影響される。兵庫は、前倒しの出荷で豊作気味。中旬には切り上がる。佐賀は、病害発生のため早めの出荷となっている。玉伸びもよくない。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							月

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	12,670	319	340	297	312	フィリピン 20%
	22年	11,902	346	340	358	343	愛知 17%
	23年	11,989	321	338	316	305	長野 7%
	24年	11,605	342	357	328	341	山梨 7%
	25年	11,231	351	369	331	353	
	5カ年平均	11,879	335	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	11,100	340	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、長野、山梨中心に入荷する。りんご、なし、もも、いちじく等は前倒しの出荷が想定される。天候が不安定で、様々な品種で生育の影響が懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
アールスメロン	21年	334	474	460	473	525	愛知 53%
	22年	341	503	469	569	490	静岡 29%
	23年	340	500	-	-	-	青森 7%
	24年	286	514	-	-	-	茨城 6%
	25年	271	507	-	-	-	
	5カ年平均	314	499	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	260	500	450	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、静岡。8月中旬(旧盆)がピークとなる見通し。作付面積が減少により入荷減も、需要も減少しているため、単価には反映されないと思われる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
すいか	21年	2,390	119	117	116	131	山形 40%
	22年	2,594	174	177	161	187	長野 33%
	23年	2,688	130	148	137	103	秋田 12%
	24年	2,790	151	161	153	149	青森 7%
	25年	2,469	171	165	185	201	
	5カ年平均	2,586	149	154	151	154	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,500	160	140	150	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は山形、長野。7月はすいかにとって良い天候となり、入荷量が増えたものの、売れ行きが悪く、物が残っている状態。 東北物も早めに出てくることも予想され、単価は低くなるであろう。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	実績と見込み	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果実	21年	45,955	293	310	285	283	山形	15%
	22年	41,208	342	322	355	354	福島	11%
	23年	44,246	298	319	294	275	山梨	10%
	24年	41,317	337	336	337	338	フィリピン	8%
	25年	41,184	339	354	328	330	(愛知産比率)	1%
	5カ年平均	42,782	321	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
20年平均	41,500	350	-	-	-			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>なし、もも、ぶどう中心に入荷。ももは福島、山梨中心。着果状態が非常に良く順調な作柄。なしは関東産地が中心で、生育も良く玉肥大も順調。なだらかな増加となる。他にぶどうやハウスみかんが入荷。入荷量は前年並み、価格はやや上回る見込み。</p>						
アーモンド	21年	715	459	476	442	456	静岡	34%
	22年	775	450	438	530	399	茨城	28%
	23年	706	483	531	464	415	青森	18%
	24年	633	502	472	658	460	山形	8%
	25年	682	501	505	589	453	(愛知産比率)	5%
	5カ年平均	702	478	484	533	435	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
20年平均	670	510	520	550	480			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城中心に青森、山形などから入荷する。静岡は、天候に恵まれ品質は良好である。外観、肥大とも良好。茨城は、6月のネット発現期の天候不順で下等級が増える見込み。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>						
すいか	21年	10,813	120	115	115	138	山形	44%
	22年	10,709	178	169	175	211	秋田	14%
	23年	10,589	137	140	143	117	長野	13%
	24年	11,830	155	157	147	158	青森	8%
	25年	9,270	174	157	182	210	(愛知産比率)	0%
	5カ年平均	10,642	152	147	151	166	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
20年平均	9,500	170	160	170	180			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>山形を中心に秋田、長野などから入荷する。山形は天候もよく高品質の入荷。上旬がピーク、盆明けには減少。長野も生育順調で高品質。ピークを過ぎているが下旬まで入荷がある。全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	21年	3,395	53	
		22年	2,821	60	
		23年	3,003	51	
		24年	2,375	65	
		25年	2,289	56	
	5ヶ年平均		2,777	56	
	26年見通し		2,200	58	
概要	愛知、長野、三重等から入荷。やや前進傾向で大きな山もなく、需要期を迎える。長野産は2月雪害の影響もあり、生産量は減少。盆の間際は不足感があり、急激な高騰も考えられが、盆明けは落ち着いた展開が予想される。				
小 ぎ	実績	21年	2,625	36	
		22年	2,989	40	
		23年	3,309	31	
		24年	2,602	35	
		25年	2,696	31	
	5ヶ年平均		2,844	35	
	26年見通し		2,600	35	
概要	愛知、長野、埼玉、奈良等から入荷。前進傾向で需要の山と供給の山にずれがでそう。軟調相場から一気に堅調な展開が考えられる。中旬以降は需要期も終わり、落ち着いた動きとなろう。				
カー ネー ション	実績	21年	1,092	45	
		22年	1,294	43	
		23年	1,375	40	
		24年	1,411	38	
		25年	1,167	46	
	5ヶ年平均		1,268	42	
	26年見通し		1,070	45	
概要	長野中心に北海道等から入荷。2月の雪害により6、7月の集中出荷もなく、8月から一気に減少し、本格的に影響がでて、品薄感が続きそう。				
か す み 草	実績	21年	92	117	
		22年	66	110	
		23年	73	115	
		24年	118	85	
		25年	103	121	
	5ヶ年平均		90	108	
	26年見通し		100	120	
概要	長野、福島、北海道から入荷。入荷数量は少なめ、一般消費の動きは悪く、業務中心の販売。入荷次第では苦しい販売となりそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	21年	486	145	
		22年	514	149	
		23年	546	149	
		24年	549	137	
		25年	433	159	
	5ヶ年平均		506	147	
	26年見通し		450	150	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道から、LAは埼玉、新潟、鉄砲は兵庫、愛媛、長野から入荷。生育はやや前進気味で、8/6からの販売は鉄砲は数量的にありそうだが、LA、オリエンタルは減少しそう。価格も連動し、8月当初は苦しい展開も相場は一気に上昇することも考えられる。</p>				
洋らん	実績	21年	441	75	
		22年	489	77	
		23年	484	83	
		24年	464	88	
		25年	484	83	
	5ヶ年平均		472	81	
	26年見通し		470	85	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等から入荷。盆需要により引き合いが強くなるが、7月同様品質による価格差は大きい。輸入品は最近の円安で若干セリ分に回る物が少なく、堅調な販売となると思われる。</p>				
ばら	実績	21年	798	50	
		22年	686	51	
		23年	696	54	
		24年	736	50	
		25年	623	54	
	5ヶ年平均		708	52	
	26年見通し		620	52	
概要	<p>青森、愛知、岐阜、長野、山形、和歌山、九州から入荷。お盆明けからは伊勢の出荷も再開する。愛知、岐阜、和歌山産は夜冷の効果が出て、品質差が大きくなる。</p>				
枝もの	実績	21年	1,756	56	
		22年	2,039	61	
		23年	2,440	57	
		24年	2,265	57	
		25年	2,073	55	
	5ヶ年平均		2,115	57	
	26年見通し		2,100	55	
概要	<p>長野、静岡、福岡からお盆商材の法月が入荷。猛暑による影響があれば、法月の引合いは強くなる。その他のお盆花材の引合いは堅調。後半は稽古も休みがちとなり、引合いは弱そうだ。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	21年	16,684	963	
		22年	11,418	1,331	
		23年	17,425	908	
		24年	14,987	913	
		25年	14,493	989	
	5ヶ年平均		15,001	1,001	
	26年見通し		14,000	929	
概要	入荷量は6号中心で昨年並か。 7号～10号も出荷を予想。単価は厳しくなる。品種のメインは、ピンクチャンピオン、ダコタになりそう。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(97.1%)、2位三重県(1.3%)、3位岐阜県(1.1%)となっている。				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	21年	13,643	373	
		22年	8,456	345	
		23年	7,665	353	
		24年	9,362	317	
		25年	7,746	334	
	5ヶ年平均		9,374	347	
	26年見通し		7,000	329	
概要	入荷量は関東地方の2月の大雪の影響もあり減少する見込み。 5号以下の物が引き合い強いだろう。数量も減少する見込みなので早めの注文が必要であろう。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(94.6%)、2位愛知県(5.4%)となっている。				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	21年	3,973	177	
		22年	4,575	124	
		23年	4,831	117	
		24年	5,883	145	
		25年	6,156	100	
	5ヶ年平均		5,084	130	
	26年見通し		6,000	100	
概要	入荷量は昨年より減少か。 高温時期に入り、花色・花持ち等、商品的に良品生産の厳しい時期に入るのが要因となる。販売も苦戦が予想される。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜県(44.9%)、2位愛知県(38.1%)、3位山口県(13.3%)となっている。				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジユウ	実績	21年	5,963	779	
		22年	3,607	842	
		23年	3,400	800	
		24年	3,263	813	
		26年	3,000	800	
	5ヶ年平均		3,847	804	
	26年見通し		3,000	767	
概要	<p>昨年同様、入荷量は減少か。増税も後押しし、単価は厳しいと思われる。また、夏場は軟腐病などが出やすくなっている為、出荷時含め注意が必要である。昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(59.6%)、2位長崎県(15.3%)、3位山梨県(10.0%)となっている。</p>				
スパテイ	実績	21年	4,921	284	
		22年	7,156	268	
		23年	7,081	235	
		24年	10,885	185	
		25年	8,796	201	
	5ヶ年平均		7,768	226	
	26年見通し		8,400	220	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。年々小鉢化の傾向にある。今後、猛暑が予想されるため、単価は厳しくなることが予想される。昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重県(70.0%)、2位愛知県(27.9%)、3位岐阜県(2.1%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	21年	28,646	522	
		22年	19,019	650	
		23年	24,649	603	
		24年	24,660	675	
		25年	20,531	725	
	5ヶ年平均		23,501	628	
	26年見通し		18,000	667	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。主要品目は定番のユッカ、マッサン、ジェレがメイン。サイズに関しては、主に7号が中心となる。昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(80.2%)、2位沖縄県(8.4%)、3位岐阜県(3.5%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2014年)

1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	67,916	111.9	7,304,770	95.4	108	85.2	327,001	94.0	43,723,842	105.6	134	112.4
トマト	585	106.1	235,990	112.5	403	106.0	2,605	100.4	1,044,395	102.2	401	101.7
たまねぎ	27,405	158.7	1,187,298	83.9	43	52.9	158,802	162.7	8,557,380	116.8	54	71.8
にんにく	1,683	109.8	276,116	79.1	164	72.1	7,486	104.2	1,221,963	79.6	163	76.4
ねぎ	4,274	101.5	409,253	82.8	96	81.6	23,349	109.7	2,605,829	109.4	112	99.8
ブロッコリー	3,892	89.9	794,642	102.1	204	113.6	15,044	92.7	2,932,673	98.1	195	105.8
結球キャベツ	2,442	115.8	90,328	100.5	37	86.8	24,525	150.3	1,029,089	160.1	42	106.5
にんじん・かぶ	5,430	87.6	285,298	79.5	53	90.8	32,608	94.6	1,881,269	98.4	58	103.9
ごぼう	3,481	119.3	268,699	190.4	77	159.5	18,904	121.6	1,730,612	232.9	92	191.6
えんどう	127	65.6	37,937	53.4	299	81.3	399	37.4	136,585	36.4	342	97.4
アスパラガス	574	100.2	410,902	94.7	716	94.6	7,235	111.5	4,021,057	111.6	556	100.1
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	0.0	-	-
しいたけ	87	72.3	36,691	72.4	422	100.1	1,333	73.1	505,381	83.5	379	114.2
かぼちゃ	10,803	75.1	1,083,529	82.9	100	110.4	76,724	96.6	6,045,242	101.8	79	105.4
果実(生鮮・乾燥)	166,221	90.7	30,159,351	95.1	181	104.9	699,659	91.1	115,209,068	105.8	165	116.2
バナナ	97,661	95.9	9,142,402	96.1	94	100.2	395,617	96.8	34,315,471	104.4	87	107.8
パイナップル	15,819	91.7	1,148,270	100.5	73	109.6	65,070	88.3	4,666,405	107.6	72	121.9
レモン	4,312	78.1	910,899	105.6	211	135.2	18,080	92.6	3,667,471	138.4	203	149.4
オレンジ	5,374	107.1	777,061	130.4	145	121.7	33,553	66.5	5,253,879	94.7	157	142.5
グレープフルーツ	4,163	48.5	465,073	48.8	112	100.6	46,394	76.5	5,914,924	85.0	127	111.2
メロン	4,926	98.5	519,597	95.9	105	97.4	16,914	94.4	1,799,377	94.1	106	99.7
ぶどう	2,926	98.3	610,101	91.4	209	93.0	10,998	93.1	2,504,140	95.0	228	102.0
キウイ	11,443	97.2	4,362,383	110.3	381	113.5	23,997	114.3	8,892,943	130.4	371	114.1
いちご	26	126.1	25,987	118.9	1,000	94.3	37	67.4	39,383	72.5	1,056	107.6
切花(生鮮・乾燥)	2,628	87.2	2,708,350	104.1	1,031	119.4	16,844	92.3	14,921,085	104.0	886	112.7
鳥獣肉類	163,982	94.7	83,546,726	100.0	509	105.5	756,354	103.3	372,772,592	108.9	493	105.4
牛肉(くず肉含む)	41,036	73.7	22,782,144	78.8	555	106.9	191,041	92.2	103,068,309	99.4	540	107.7
豚肉(くず肉含む)	72,482	109.8	40,934,434	117.6	565	107.1	340,755	110.8	183,514,586	113.3	539	102.3
鶏肉	39,639	98.5	11,255,514	97.2	284	98.7	178,803	100.8	49,813,263	104.3	279	103.5
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	152,469	99.4	94,168,584	99.9	618	100.5	675,751	94.6	446,129,792	109.3	660	115.6
まぐろ類	16,876	95.3	13,351,512	96.6	791	101.4	86,116	95.5	80,306,525	105.2	933	110.1
さば・さんま・あじ・いわし	2,980	82.1	785,812	104.1	264	126.8	34,630	106.1	7,882,465	134.2	228	126.5

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	306	130.7	183,385	127.6	599	97.6	8,490	106.6	3,600,639	120.3	424	112.8
うんしゅうみかん	11	139.7	14,743	168.2	1,340	120.4	260	172.6	155,286	193.1	598	111.9
りんご	221	123.4	86,009	129.1	389	104.6	7,867	105.1	2,948,389	117.1	375	111.4
なし	-	-	-	-	-	-	8	46.4	4,365	48.5	529	104.4
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	277,928	116.4	-	-	-	-	1,237,076	115.1	-	-
緑茶	313	127.7	728,293	135.3	2,327	106.0	1,354	126.4	3,090,151	127.1	2,282	100.5

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 2月	100.7	100.5	113.1	102.0	108.1
	3月	101.0	98.2	110.6	103.0	108.5
	4月	103.4	98.5	109.4	105.9	111.4
	5月	103.5	97.2	115.0	106.8	111.3
愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1	102.1
	25年平均	100.1	105.2	104.9	100.1	103.2
	26年 2月	100.5	103.7	116.6	100.8	108.5
	3月	100.8	100.3	114.9	102.9	108.2
	4月	102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
	5月	101.8	101.4	115.0	100.3	104.2

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 2月	107.9	102.5	112.7	101.8	111.4
	3月	106.4	102.2	105.7	111.5	112.8
	4月	105.8	103.6	98.5	97.0	115.4
	5月	106.2	105.3	101.5	102.4	112.0
愛 知 県	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 2月	107.9	102.5	112.7	101.8	111.4
	3月	106.4	102.2	105.7	111.5	112.8
	4月	105.8	103.6	98.5	97.0	115.4
	5月	106.2	105.3	101.5	102.4	112.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りんご(ふじ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年 2月		2,016	207	167	627	545	306	156	391	305	588	624	172	485
3月		1,998	201	191	643	598	308	175	404	311	600	625	172	501
4月		2,047	154	187	562	413	322	161	466	310	503	645	149	523
5月		2,021	189	193	602	410	341	170	401	312	601	639	159	531
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶(せん茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉(ロース)	牛 肉(ロース)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年 2月		601	356	437	117	232	770	533	157	161	326	227	795	399
3月		599	362	429	145	228	785	531	161	177	351	228	812	403
4月			344	441	152	248	809	537	170	176	351	229	844	405
5月			363	430	159	251	801	541	164	180	332	232	851	409

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 494
平成26年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421